

ある日、友人から一冊の本が送られてきた。

その本は、「図書館への道ービルマ難民キャンプでの1095日」(渡辺有理子著)。タイ北部にあるビルマ(現在のミャンマー)難民キャンプには、ビルマの軍政権に弾圧された15万人の少数民族カレンが生活している。その難民キャンプに、2000年から18館の図書館を造り続けた3年間の軌跡が記されている。

難民キャンプがどこにあり、どのような人々がどのような生活をしているかも知らない私にとって、それは想像を超えた世界であった。食料や医療支援でもない図書館づくりは、戦禍によって親や祖国、

未来さえも奪われた多くの子どもたちにとって、何を意味するのだろうか。

著者は、心身に深い傷を抱える人々にとって、少しでも希望の回復につながることを願いながら図書館づくりに参加する。竹とユーカリの葉で

造られた、もちろん電灯がない、実に簡素な図書館。開館初日、子どもたちは待ちきれずにどっと流れ込み、歩く

隙間もなくなつたという。

絵本の読み聞かせに、一語を聞き漏らすまいと集中する子どもたち、絵本を母語(カレン語)で読む笑顔の子どもたち。10歳の少年は、図書館への思いを詩に綴る。

「僕は図書館が大好き 世界で一番大好き… 図書館で知ったことは、僕の人生にとって金のように光輝く 僕に希望を与えてくれる…」

地元の指導員に図書館活動への願いを聞くと「人権…ヒューマンライツ…」と答えたという。それは、母語を奪われ、激しい弾圧に遭い、隣国に逃れた人々にとって、母語での読書は人権獲得の一つであるのだろうか。

図書館大好きと書いた少年は、母語で本を読むことで生きる希望と民族の誇りを知っていく。読書は母語言葉で育む。それは、兵器で殺しあうのではなく対話による「平和」を可能にするのではないだろうか。

世界中から難民キャンプがなくなくなり、子どもたちが心ゆくまで絵本を楽しむことができるのは、いつのことだろうか。

## ありがとうございました

次の方々からご厚志をいただきました。厚くお礼申し上げます。(順不同 敬称略)

### ■まごころ銀行へ

▽故竹田桑一(福武甲)▽笹本陽地(三津屋)▽岡田友茂(大新田)▽兵頭範夫(丹原町志川)▽永井茂子(丹原町池田)▽NPO法人Works21▽松田歌謡教室 松田留美子▽国興産業(株)▽うしろのしょうめんだ〜れ▽小松町ふるさと祭り実行委員会▽小松歌謡クラブ

### ■老人ホーム明水荘へ

▽生け花指導 稲住育子(下島山甲)▽散髪 伊藤泰博(明神木)▽新聞 芥川秀人(神拝甲)▽押し花指導 佐藤ミヨ・秋月理作子(大町)、長瀬 皋(中野甲)▽運動会への招待 西条高校▽手紙・果物 西条小学校

### ■老人ホーム石燧園へ

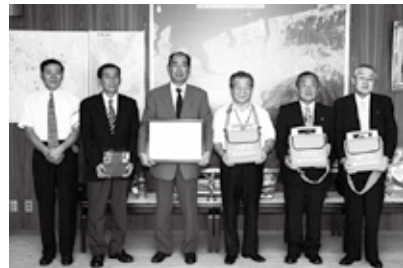
▽縫物奉仕 周桑天理教婦人部▽鯛 西条市東予地区青年漁業者連絡協議会▽たばこ 日本たばこ産業(株)四国支社

### ■特別養護老人ホーム道前荘へ

▽喫茶・カレンダー作り コープえひめ福祉グループ▽歌・踊り ふじ美ボランティア和▽歌 玉井キヨ子(小松町大頭)▽居室清掃 曾我部美知子・鈴鹿夏未(小松福祉作業所)

## ■AEDが寄贈されました

9月17日(水)に、西条石鎚ライオンズクラブから、AED(自動体外式除細動器)3基が市に寄贈されました。今回寄贈いただいたAEDは持ち運びが可能なタイプで、今後はスポーツ大会や各種行事の際に、貸し出しを行う予定です。



## ■図書が寄贈されました

9月30日(火)に、クラレ西条ふれあい募金会から市内小学校6校へ図書が寄贈されました。この図書寄贈は、次代を担う小学生に読書を通じて豊かな情操を養ってほしいとの趣旨で、昨年度から実施されており、来年度以降も引き続いて順次市内すべての小学校26校に「クラレ文庫」として贈られる予定です。



## ■西条祭りをPRする

### オリジナルフレーム切手が贈呈されました

郵便局(株)四国支社発行のオリジナルフレーム切手「西条祭り」が市へ贈呈されることになり、9月30日(火)に宮崎支社長から伊藤市長へ額入りの切手シートが手渡されました。

この切手は限定2,000シート発行され、10月1日から西条市内の全郵便局において1シート900円で販売されています。

